

 **福祉・医療・保健**

高齢者タクシー券を支給してほしい



宮田 真美 議員

「バス停が遠く、歩いて行けない」、「免許証を返納したいが、車がないと生活できない」等の理由から、高齢者からは県内他市で実施されているタクシー券の支給を望む声が上がっている。高齢者の自由な外出を保障することは、自立や尊厳を持って生きることにつながるため、高齢者へのタクシー券の支給を求めるがどうか。

答

高齢者へのタクシー券の支給については、現在実施中の交通空白地等における乗合タクシーの実証運行の結果も踏まえ、総合的に判断したい。なお、高齢者福祉施策の一環として、外出支援策は重要であると考えており、現在高齢者が気軽に集える場所として、中学校区ごとに、地域ふれあい館の整備を進めている。



 **福祉・医療・保健**

年3回の給料でやっていけますか？



神近 寛 議員

4カ月に1度支給されている児童扶養手当は、実質的に生活給であり、市職員の給料が4カ月に1度支払われるようなものである。前回提案した「毎月支給のため市が一旦貸し付け、後日、支給に合わせてまとめて返金してもらう仕組み」の試行を明石市が始めている。大村市の取り組みにも期待したい。また、国の動向も合わせて確認する。

答

児童扶養手当相当額の貸し付けについて、明石市は19世帯を対象にモデル事業として実施されており、その後対象を広げられるようであるが、貸し付けとなった場合、返済の必要が生じるため、さまざまな問題の発生が予想される。このため、今この場で、本市ですぐに取り組みと答えることはできない。なお、国においては、支給回数を年3回から6回に変更する案が浮上しており、現在検討されている。

 **福祉・医療・保健**

生活習慣病の予防と対策



廣瀬 政和 議員

本市においては、高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の患者が増えていると言われている。主に中年期以降に発症する生活習慣病が、日本人の大きな死亡原因である脳出血や心筋梗塞、腎臓病を引き起こすことはよく知られている。本市の生活習慣病の現状と予防対策について尋ねる。

答

本市の生活習慣病の現状については、平成27年度の国保の特定健診等の結果から、メタボ該当者16.9%、糖尿病有病者10.8%、高血圧症有病者5.5%となっている。また、予防策については、市内各地での食生活改善推進員による食生活指導のほか、各学校においては、学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じて、保健体育科等を中心に生活習慣に関する指導を行っている。



 **福祉・医療・保健**

保育環境の施設整備に関する具体的な施策



野島 進吾 議員

本市の人口は増加しており、今後も県外を含む他自治体から、小さな子ども連れの方が転入してくる可能性が高いため、保育環境の拡充や準備が急務である。本市において保育園を運営する事業者や保護者の意見を取り入れ、待機児童のさまざまな状況にも対応できるように新たな施策を教えていただきたい。

答

今年8月に実施した「教育・保育施設の設置・運営事業者の募集」に際しては、各地区の保護者への聞き取りや市保育会等への意見聴取は行っていない。今後は、市保育会だけではなく、さまざまな団体との意見交換を重ね、さらに充実した保育行政に努めたい。

